

「凍結鑄型鑄造法」による  
環境低負荷鑄造を実現

# 株式会社 三共合金 鑄造所

大阪府  
大阪市西淀川区佃5-10-7



代表取締役  
奥谷 加壽子

1944年(昭和19年)設立  
Tel 06-6472-3571

<http://www.ksh-sankyo.com/>

環境低負荷型の凍結鑄型鑄造法を中心とした都市型鑄物夢工場づくりの実現を目指す。

## ものづくりのイロハのイの字は「鑄物」

同社は、創業時は銅合金の鑄造工場からスタートし、その後、鑄鉄(昭和25年)、鑄鋼(昭和61年)と生産鋼種の増やし、加工・組立などへの事業拡大も行った。しかし、あくまでも基盤産業である“鑄物”をベースにした事業活動を続けている。また、以前から「産学官連携」のスタイルを取り、材料の研究開発や、環境問題を考慮した工場づくりなどにも取り組んでいる。

## 耐久性に優れた商品

大手鉄鋼メーカーのシームレス工場の熱間工具部品(プラグ・ガイドシュー)を中心とした合金鑄鋼・鑄鉄が最主力製品。寿命延長を目指した材料開発技術にも強みを持ち、「減って困る」「割れて困る」ものへのオーダーメイドでの材料対応を行っている。その代表“バナジウム球状炭化物材料”は耐摩耗性・耐食性に優れ、ポンプ部品や各プラントのホッパー内張りライナーなどにも採用されている。



## 環境低負荷・都市型鑄物夢工場

「第2回ものづくり日本大賞優秀賞」を受賞した凍結鑄造は、砂と水だけを凍らせる事によって造られた“氷の鑄型”での鑄物づくり。騒音・振動・粉塵・異臭などが極めて少ない。今後は、今回実用化に成功した環境低負荷型の凍結鑄型鑄造法を中心とした都市型鑄物夢工場づくりの実現を目指す。キャッチフレーズは「ペンギンの住める鑄物屋さん」。